

「第30回全国川サミット in 岡崎」に参加しました

「河川空間とまち空間の融合ー川の歴史の継承と新たな交流を目指してー」をテーマに、流域に住む人々に恵みをもたらし続ける川の大切さを再認識するとともに、乙川のかわまちづくり事業を通して次世代に向けてより良い川との共生を図っていくため、令和4年11月4日（金）・5日（土）に「第30回全国川サミット in 岡崎」が開催されました。

今回のイベントでは、川について学べるパネル展示やパネルディスカッションなどが行われており、その中で、当協会は、浸水体感VRによる浸水の疑似体験や浸水疑似体験映像の上映、ソナエルピクトのマグネット配布などを行いました。

VR体験者からは、「最近、特別警報も頻繁に出るので慣れてしまっていますが、VRの映像を見ると良くわかり、気を付けようと思いました」などの声をかけて頂いたり、驚いたり怖がるようなリアクションをされている様子が見られました。また、東海豪雨の経験者は、「VRを見て思い出した」と当時の様子をお話しされていました。

今後も地域防災力向上のため、多様な機関と連携した取組を進めてまいります。

